

## WIDEX NEWS RELEASE

2012年6月24日  
ワイデックス株式会社

報道関係者各位  
ニュースリリース

### 補聴器メーカー・ワイデックスのデンマーク本社が 2012年度の欧州発明賞 (European Inventor Award 2012)を受賞しました。

世界6大補聴器メーカーの一つ、デンマークの補聴器専門メーカー・ワイデックス社(日本法人:ワイデックス株式会社 本社:東京都墨田区、代表取締役:菅谷保巳)が、2012年度の欧州発明賞(European Inventor Award 2012)を受賞しました。

- ワイデックスが提供する補聴器と難聴の総合情報サイト「みみから。」:<http://www.widexjp.co.jp/>
- ワイデックスデンマーク本社ニュース:<http://www.widex.com/en/newsroom/2012/eiawinner/>
- European Inventor Award:<http://www.epo.org/news-issues/european-inventor.html>
- Winner "Industry" category:[http://www.youtube.com/watch?v=8YF\\_KTkPoWg](http://www.youtube.com/watch?v=8YF_KTkPoWg)
- 受賞式の模様:[http://www.youtube.com/watch?feature=endscreen&NR=1&v=A5Y\\_v7mlFqM](http://www.youtube.com/watch?feature=endscreen&NR=1&v=A5Y_v7mlFqM)

ワイデックスは、2012年6月14日、ヨーロッパの権威ある発明賞である欧州発明賞(European Inventor Award 2012)を受賞しました。

デンマークの補聴器メーカーであるワイデックスが、独自に開発した画期的な技術「カミーシャ=CAMISHA」(補聴器のシェルやイヤモールドを製造する最先端のきわめて精巧な方法)によって、最終選考に残った15社の頂点に立ちました。

ワイデックスの受賞は、デンマークのコペンハーゲンで開催された授賞式の席上で European Patent Office(EPO)によって発表されました。

授賞式の席上で、ワイデックスのCEOであるヤン・トップホルムは次のように語りました。「今回の受賞は私たちにとってとても光栄なことです。とりわけ、ブルートゥースやロシュの心臓発作診断テストといった世界的にも有名な技術との競争の結果この賞を勝ち取ることができたという事実を非常に誇らしく感じています。革新的技術を飽くことなく追求する姿勢は、創業以来ワイデックスが持ち続けるDNAの一部です。今回の受賞によって、ワイデックスは補聴器の枠を越えたハイテク産業全体のテクノロジーリーダーとして存在を広く知られることになりましたが、これからもわれわれの研究開発の歩みが止まることはありません。」

European Patent Office(EPO)の代表であるブノワ・バティスティリは、ワイデックスに賞を授与する際、こう祝辞を述べました。「この優れた技術の発明者である、ヤン・トップホルム、ソーレン・ウェスターマン、スヴェン・アンデルソン。彼らはこの発明によって、補聴器産業に大きな革命をもたらしました。しかし、それ以上に大きな彼らの功績は、ワイデックスという家族経営を基礎とした会社が、革新的な技術開発力と卓越した特許戦略を背景に世界的企業へと成功していく過程を明確に示しながら、他の多くの企業の指針となったことにあるのです。」

ワイデックスは、創業以来 50 年以上にわたって補聴器業界の技術革新の先頭に立っています。その代表的な例が世界初の耳あな型フルデジタル補聴器〈センソ〉や、補聴器専用の画期的なワイヤレス通信システム〈ワイデックスリンク〉の開発です。今回の欧州発明賞の受賞によって、世界で 150 を超える特許を保有するワイデックスの技術開発能力の高さが再認識される結果となりました。「補聴器産業における技術の進歩のスピードには目を見張るものがあります。より良い製品をつくり出すためには、ハイテク技術や専門的知識を絶えず磨き続けていかななくてはなりません。」ヤン・トップホルムはそう語りました。

### カミーシャ=CAMISHA

カミーシャ=CAMISHA とは、ワイデックスが独自に開発した、補聴器製造過程における画期的な最先端技術です。CAMISHA は、Computer Aided Manufacturing of Individual Shells for Hearing Aids.からの略語です。カミーシャは、最先端のスキャニング技術とレーザー技術を駆使して、補聴器ユーザーの耳あなの形状を 3D コンピュータモデルで再現します。このデータを基に補聴器ユーザーの耳あなの形状にぴったり合った補聴器のシェルやイヤモールドが製造されるのです。カミーシャはワイデックスの技術者であるヤン・トップホルム、ソーレン・ウェスターマン、スヴェン・アンデルソンによって開発され、1990 年に国際特許を取得した後、2001 年に実用化されました。ワイデックスが特許を取得したこの技術は、主要な補聴器メーカーや工場にライセンスされて補聴器業界全体に拡がり、補聴器のシェル製造に革命をもたらしました。補聴器のシェルやイヤモールドは、可能な限り正確にユーザーの耳あなの形状に合わせてつくる必要があります。そうしないと快適な装用感を得られないだけでなく、満足できる聞こえを提供することもできなくなります。カミーシャが実用化されるまでは、シェルやイヤモールドの製造は全て手仕事で行われていました。

カミーシャの登場によって、耳あな型補聴器の装用感・着け心地は大幅に改善され、より快適なものになりました。見た目の面でシェルのサイズがこれまで以上に小さくなり目立たなくなったということだけではなく、ユーザーの耳あなの形状によりフィットするシェルをつくるのが可能になり、補聴器ユーザーの満足度が従来に比べ格段に向上しました。その上、シェルを製造するプロセスも飛躍的に容易かつ正確なものになりました。

### 欧州発明賞(European Inventor Award)

2006 年に設立された欧州発明賞(EIA)は、技術的、社会的、経済発展に貢献した優れた発明に対して European Patent Office(EPO)が毎年付与するもので、産業部門、研究部門、中小企業部門、非ヨーロッパ諸国部門と功労賞で構成されています。

### ワイデックスについて

デンマーク・ワイデックス社は 1956 年創業の補聴器専門メーカーであり、1995 年、世界初の耳あな型フルデジタル補聴器『センソ』を開発したことで知られています。その2年後に当時世界最小の耳あな型フルデジタル補聴器として開発された『センソ CIC』は、“人類に豊かな生活をもたらす記念碑的製品”としてアメリカ・スミソニアン博物館に展示され、日本でも朝日新聞の一面等に記事掲載され大きな話題となるなど、補聴器のリーディングカンパニーとして広く知られています。現在では、日本をはじめ世界 100 カ国以上にネットワークを持つ世界企業です。またワイデックス社の日本法人であるワイデックス株式会社も 1956 年の創業以来、優れた製品とサービスを提供する補聴器のプロフェッショナルとしての評価を確立しています。

#### ● ナチュラルチョイス

ワイデックスの補聴器づくりは、「ナチュラル・チョイス(THE NATURAL CHOICE)」というキーワードに集約されています。補聴器を製造していく上で、どんなことを重視しているのか、ワイデックスにとっての「ナチュラル・チョイス」は、【デザイン】【テクノロジー】【環境への配慮】です。優れた性能と外観を高い次元で両立させたプロダクトデザイン、優れた音質と騒音下での言葉の聞き取りやすさ

を実現するための最先端のテクノロジー、そして、地球環境への配慮。ワイデックスの補聴器はそうしたコンセプトに基づいて生み出されています。そして、ワイデックスの補聴器が多くのユーザーにとっての「ナチュラル・チョイス(自然な選択・当たり前の選択)」となることを願っています。

- 2010年2月、コペンハーゲン近郊に完成した新社屋は、省エネルギーと環境への配慮という点で特筆すべき特長を備えた次世代の建築物として注目を集めています。
- この新社屋に象徴される地球環境への貢献活動が評価され、ワイデックスは「Climate Cup Awards 2009」にノミネートされました。「Climate Cup Awards 2009」は、2009年12月にデンマークで開催された[COP15](第15回気候変動枠組条約締結国会議)に関連するイベントで、再生可能エネルギーや効率的なエネルギー生産に対する取り組みが顕著な企業や産業に対して贈られる賞です。
- デンマーク本社が2009年度の「Danish Entrepreneur of the Year 2009」受賞、更に「Ernst & Young's World Entrepreneur of the Year」ファイナリスト受賞。
- ワイデックスの『パッション』が、ドイツの権威あるデザイン賞である「レッドドット・デザイン賞」を2009年に受賞しました。
- 『クリアフュージョン』は、公益社団法人 日本デザイン振興会が主催する「2011年グッドデザイン賞」(Gマーク)を受賞しました。
- 『クリア』と『DEX』が世界的な工業デザイン賞「iF Product Design Award 2012」を受賞しました。
- ワイデックスはスポーツや文化活動への支援や異業種とのコラボレーションなど、補聴器の可能性を拓ける様々な取り組みにチャレンジしています。
- 最近では、補聴器の耳型を採取する技術と音響工学のノウハウを生かし、カスタムメイドのイヤホンや、音楽関係者のイヤモニターの製作なども手がけています。

ワイデックスでは、難聴や補聴器に関する資料をご用意しております。また、報道機関の皆様の本社見学も随時受け付けておりますので、下記マーケティング部までお問い合わせください。

## 本件に関するお問い合わせ

ワイデックス株式会社 マーケティング部 早野(はやの) 松野(まつの)

所在地: 〒131-0034 東京都墨田区堤通 1-19-9

連絡先: TEL 03-5631-2856 / FAX 03-5631-3024

E-mail: [marketing@widexjp.co.jp](mailto:marketing@widexjp.co.jp)

ホームページ:ワイデックス株式会社:<http://www.widexjp.co.jp>

お客様相談室:<https://www.widexjp.co.jp/ssl/inquiry.html>

## 会社概要

社 名:ワイデックス株式会社

設 立:1956年11月28日

代表者名:菅谷 保巳(すがや やすみ)

資 本 金:1億1,700万円

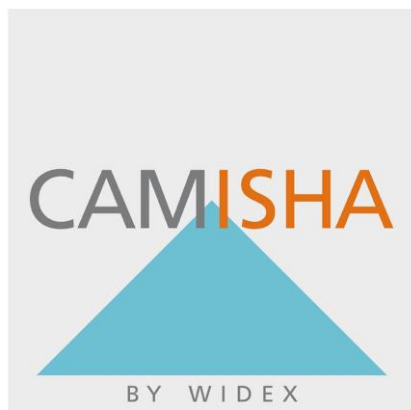
従業員数:140名

事業内容:補聴器の製造・販売、補聴器および医療機器の輸入販売

主な認可:第二種医療機器製造販売業許可番号 13B2X00020

医療機器製造業許可番号 13BZ006202

営 業 所:札幌/仙台、東京、名古屋、大阪、福岡



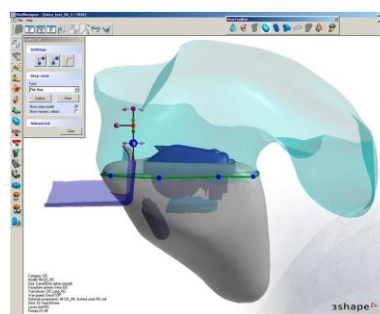
カミーシャロゴ



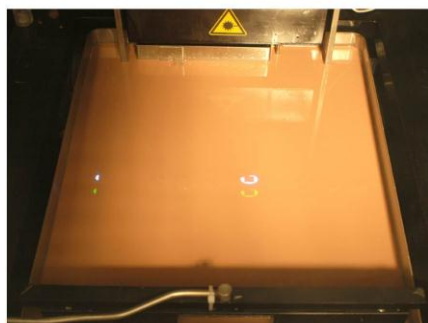
カミーシャ



レーザーキャニング



3Dデータ



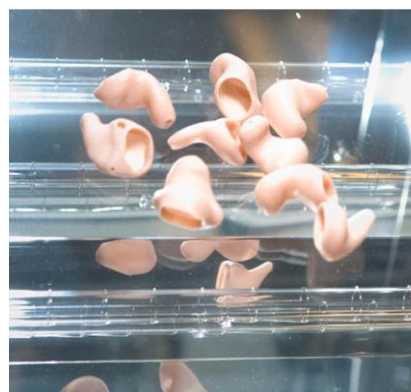
シェルの成形-1



シェルの成形-2



シェルの成形-3



シェルの成形-5

カミーシャ開発者

ソーレン・ウェスターマン、ヤン・トップホルム・スヴェン・アンデルソン(左から)



## 【付帯資料-1】

### ワイデックス・デンマーク本社について

設立:1956年 クリスチャン・トップホルムとエリック・ウェスターマンにより設立

社長兼 CEO:ヤン・トップホルム(科学修士-電子工学)

副社長:アンドレス・ウェスターマン(商業学士)

ソーレン・ウェスターマン(科学修士-電子工学、音響学)

本社:Widex A/S, Nymoellevvej 6

3540 Lyngø

Denmark

子会社:アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、ボスニアヘルツェゴビナ、カナダ、中国、チェコ、

フィンランド、フランス、ドイツ、香港、ハンガリー、インド、アイルランド、イタリア、日本、

韓国、ポーランド、ポルトガル、ロシア、シンガポール、スロベニア、南アフリカ、

スウェーデン、スイス、ウクライナ、アメリカ、ベネズエラ

販売網:世界 100 カ国以上

製造:デンマーク本社及びベルギー

### ワイデックスの約束

難聴とはとても複雑なもので、その症状は一人ひとり違い、その解決方法もさまざまです。ワイデックスは、人それぞれに異なる難聴の問題を解決する最適な方法を見つけ出したいと考えています。そのために、さまざまな分野の専門家に意見を求めます。そして、何よりも大切にしているのが、少しでも多くの難聴者の声に耳を傾けることです。ワイデックスは長年にわたる調査や研究開発によって培われた財産をもとに最善の解決方法を探り出します。

事実、ワイデックスはさまざまな解決方法を見つけ出してきました。また、物事は日々進歩していくべきであるという信念を持っています。その信念が結実したのが、世界初の耳あな型のフルデジタル補聴器であり、補聴器専用開発された革新的なワイヤレス通信技術なのです。その思いは、二酸化炭素排出量ゼロを実現したデンマーク本社社屋にも託されています。

補聴器にまず求められるのは、より良く聞こえるということです。それに加えて、気軽に快適に着けることができるというのも大切な要素です。ワイデックスは、補聴器を開発する際、補聴器そのものの性能と同じ位、外観やデザインを重視しています。デザインや外観が気に入れば、毎日の生活でより自然に楽しく補聴器を身に着けることができるようになるからです。

ワイデックスにとって、難聴という複雑な問題に対して独自で有効な解決策を見つけ出していくという日々の行為は、すなわち世界中の人たちの生活を豊かにしていくということと同義なのです。

### ワイデックスの成り立ち

ワイデックスは 1956 年にデンマークで設立された家族経営の企業です。今日では、世界の 6 大補聴器メーカーの一つとして数えられるまでになりました。ワイデックスの補聴器は世界 100 カ国以上で愛用され、世界で働くワイデックスの従業員は 3,400 名を超えています。

ワイデックスはリーディングカンパニーとして補聴器におけるデジタル技術を他に並ぶものがないレベルにまで引き上げてきました。その技術レベルの高さが、「産業界におけるもっとも先進的な企業の一つ」という定評を裏付けているのです。妥協を知らない技術革新への取り組みが、世界初の耳あな型フルデ

デジタル補聴器や画期的なワイヤレス通信技術を生み出したのです。

ワイデックスは、小児難聴の分野の研究にも力を注いでおり、小児難聴の調査研究に対する支援活動を行うとともに、製品においても、他に例を見ない小児専用の補聴器を開発しました。

ワイデックスは物事は日々進歩していくべきであるという信念を持っています。その思いは、二酸化炭素排出量ゼロを実現したデンマーク本社社屋にも託されています。

## ワイデックスの価値

ワイデックスは企業活動を行う上で、三つの核となる価値を設定しています。

### ・独創性

ワイデックスは決して他者の後追いはしません。われわれは独自の聴覚医学アプローチから、難聴者の問題に対する最適な解決方法を見つけ出そうとします。独創性はその組織にも表れています。ワイデックスはフラットな組織構造にすることで、さまざまな分野・領域を横断する活動やコミュニケーションをスムーズにしています。その組織が革新的な製品を生み出す大きな原動力となっています。

### ・不断の努力

専門性と幅広い分野にわたる知見を共有するために、ワイデックスは世界中の大学の研究者や調査機関、専門医と強固な協力関係を築いてきました。そうした関係がさまざまな先端技術を生み出す力となっているのです。また、独自のワイヤレス通信技術のような新しいアイデアが生まれた場合でも、ワイデックスは時間を惜しむことはしません。その技術が本当に信頼できるものになるまでじっくりと育てあげるのです。

### ・信頼性

ワイデックスの信頼性とは世界各地に展開する関係会社や販売チャネルとの良好な関係によって生み出されるものであると同時に、作り出される個々の補聴器の品質を通じてもたらされるものです。ワイデックスは、信頼性とはユーザーに絶えずしっかりと最新の情報を発信していくことでつくり上げられていくものだと考えています。

## ワイデックスの使命

独創性、不断の努力、信頼性という三つの価値を核として、難聴で困っている人たちの生活やコミュニケーションをサポートする高性能、高品質の補聴器を届けることがワイデックスの使命です。

## 【付帯資料-2】

### 難聴は普遍的な問題

難聴は一時的な問題ということも永続的な問題ということもできます。そしてあらゆる世代に影響を及ぼす問題でもあります。難聴の多くは補聴器を使用することで改善することが可能です。聴力が低下している人は世界でおよそ5億人を超えているといわれています。2015年には7億人にまで達するという予測もあります。

### 事実と誤解

一般的に難聴は加齢によって起こる現象ということではありますが、お年寄りにだけに関係する問題という訳ではありません。実際に難聴者の半分以上が65歳以下であるというデータもあり、その中には多くの子供や若者も含まれています。

今日における深刻な問題は、騒音にさらされる機会が増え、さらにその騒音のレベルが大きくなってきているために、従来に比べて若年層で難聴になる人が増えてきているということです。

難聴は、事故や病気、薬物の影響などによっても起こるといわれていますが、その他には遺伝による要因や耳への肉体的な損傷、頭部への傷害なども原因として考えられています。

- ・65歳以上の人の約1/3が聞こえに問題を抱えている
- ・お年寄りが抱えている身体的な悩みの中で、難聴は関節炎の次にあげられている
- ・難聴の1/3以上は騒音が原因となって起こるといわれている
- ・騒音にさらされる時間が増えると、若年層であっても難聴になる可能性が高い
- ・6歳から19歳の子供の約12%が騒音によって引き起こされた難聴を抱えている
- ・工業国における49歳から59歳の全労働人口の約1/3が難聴の影響を受けている
- ・携帯音楽プレーヤーの流行が、若年層における難聴者の増加の大きな要因であると考えられている

### 難聴と子供

1,000人の新生児のうち3~4人が深刻な難聴を抱えています。子供にとって聞くことは発話や言語習得の上で非常に重要な役割を果たしています。対処をしないまましていると、子供の学習能力やコミュニケーション能力、社会への適応能力に多大な悪影響をもたらします。そのため、できる限り早い時期に新生児の聴力検査をすることが重要です。

幸いなことに早期の新生児スクリーニング検査が多くの国で一般的になってきました。また、子供用に特別に開発された小型の補聴器ベイベー440のような補聴器を装着して十分に増幅された音声を聞くことで、子供の言語習得能力やコミュニケーション能力は著しく改善されるはずです。

### 難聴と補聴器

補聴器を使用しても難聴が完全になおる訳ではありません。しかし、多くの人たちが補聴器の力を借りることでより良い生活を楽しむことができるようになります。最新の補聴器はとて小さなハイテク機器で、優れたコンピュータに匹敵する情報処理能力を持っています。大きさや形、デザインもさまざまな製品が登場しています。補聴器の技術は進化を続け、より優れた、より自然な音を届けることができるようになると同時に、ユーザー個々の難聴の状態に適応することが可能になってきました。

- ・難聴を自覚した人が補聴器を購入するまでに要する期間は平均7年間である
- ・補聴器によって聞こえが改善できるはずの人の75%が実際には補聴器を使用していない
- ・難聴のうちの90%が補聴器を使用することで改善が期待できる
- ・新生児からお年寄りまで、全ての年齢の人が補聴器を使用することができる



## 難聴と耳鳴り

耳鳴りとは実際に音はしていないのに、走り回るような音やベルが鳴るような音、雑音などが聞こえているような感覚がする状態のことで、音の強さや発生の頻度は変化します。耳鳴りはしばしば難聴を伴うことがあります。

耳鳴りの原因は明確に解明されておらず、現時点では医学的な方法で難聴を完治することは困難だとされています。難聴を治療するための方法は数多く存在していますが、さまざまなタイプの心理療法やセラピーの中でも、補聴器や音声発生装置を使用する方法が一般的になっています。ワイデックスは独特な楽音のプログラムであるゼンプログラムを開発し、海外では耳鳴りへの治療効果が報告されています。